

令和6年度 第8回 豊田市保見地域会議 会議録

開催日時	令和6年12月25日（水）	開会	閉会
		午後7時	午後7時50分
会 場	保見交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：12人		
	会長：山本 昭治 副会長：鈴木 薫		
	委員：大田 浩子 柏本 福勝 加納 和茂 加納 賢次		
	杉野 秋吉 鈴木 康之 林 義勝		
欠席者	2名（田口 浩之、山田 貴啓）		
	0名		
傍聴者	0名		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、梅村副支所長、宮石担当長、築山担当長		
	1. 豊田市民の誓い（唱和） 2. 会長あいさつ 3. 地域課題解決事業の検証 4. 情報共有・事務連絡		

■議事（要約）

3. 地域課題解決事業の検証

- 事務局が資料に基づき説明し、その後2グループにわかれて、「コミュニティカフェによるまちの縁側づくり事業」の地域会議評価と追加事業の必要性について協議をおこなった。

各グループの意見は以下のとおり。

（1）1グループ

・課題に対する現在の状況

課題が解決したのかわからないという結論に至った。

・地域会議の評価

コミカフェは、地域住民の利用があり高く評価できる。また、独居老人の安否確認、認知症予防にも役立っており、一定の評価ができる。

・追加事業の必要性

過去に老人クラブの活動として、公民館では踊り、カラオケ、コミュニティ広場ではマレットゴルフなどが盛んに実施されていた。このような活動が減少、消滅した理由は定かではないが、世話人の減少が理由ではないか。

コミカフェでのコミュニケーション活動を通して、高齢者の健康増進活動を復活することが出来るのではないかと期待する。誰でも気軽にできるボッチャ競技からスタートしてはどうかという提案があった。また、コミカフェを継続するには子どもの参加も必要ではないかという意見もあった。

(2) 2グループ

- ・ **課題に対する現在の状況**

総体的に解決していないのではとの結論であった。

- ・ **地域会議の評価**

コミカフェは、現在も継続している団体があることから一定の評価ができる。また、高齢者にとって楽しい居場所となっていることも評価ができる。

- ・ **追加事業の必要性**

コミカフェの主旨はとても良いと思うが、継続していくためには、人材の確保が必要である。また、平日昼間の開催が多く、子どもの参加は困難である。

4. 情報共有・事務連絡

- ・ 事務局より、令和7年度地域課題解決事業「すこやか保見地区つながる健康づくり事業」での、地域内小中学校との調整状況の進捗について報告した。

(次回の予定)

日 時：令和7年1月22日（水）午後7時から

場 所：保見交流館 1 階多目的ホール

内 容：地域課題解決事業の検証